

事務事業名	妊婦相談・支援事業		<input type="checkbox"/> 施設計画上の主要事業	法令根拠	母子保健法		
政策名	総合計画 06	誰もが自立し、社会参加できる福祉環境づくり	所属部門	住民福祉 部	保健福祉 課	保健推進 係(グループ)	
施策名	計画 16	安心して生み育てることのできる子育て支援	課長名	江口 久子		担当者名	小森 明美 (内 551)
基本事業名	体系 3331	家庭における子育て支援の推進	予算科目	会計 1	款 4	項 1	目 6 事業 妊婦保健事業
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 食のまちづくり <input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 次世代						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		全体計画の投入量を記入 ↳ (開始年度 不明 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)				

事業概要 母子健康手帳交付時や後期相談時に曜日を指定して妊婦相談を実施。会場は保健福祉センター。保健師が相談に応じているが、必要に応じて栄養士も対応している。妊娠前期と後期には妊婦一般健康診査の受診券を発行している。また、第2子以降の妊婦さんには定期健康診査の10回分(1回3,500円として)第2子以降は半額。第3子以降は全額の助成をしている。母子手帳発行時に申請してもらい出産後に母子健康手帳で回数を確認し、銀行口座に振り込んでいる。	全体計画	(単位:千円)	
	投入量	特定財源	
		一般財源	
		その他	
		事業費計(A)	
		正規職員従事人数	
人件費	人		
人件費計(B)			
トータルコスト(A)+(B)			

(1) 事務事業の目的と効果 手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細) 16年度実績 母子手帳発行時・後期相談時 経産婦については、妊婦健康診査費助成申請書を提出してもらい出産後母子手帳の記載回数に応じて助成金を支出 17年度計画 16年と同様 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 全妊婦 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 妊娠・出産についての知識を得、不安や悩みが解消できる 経産婦の妊娠中の定期健康診査費の負担の軽減 結果(どんな結果に結び付けるのか) 育児が楽しいと感じる方の増加。 健康診査費助成が経産婦の定期検診受診に結びつき異常の早期発見になる	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	ア	健康相談開催日数	日数
	イ		
	ウ		
	対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	ア	全妊婦	人
	イ		
	ウ		
	成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない	名称	単位
	ア	妊婦相談来所延べ数	人
イ	後期妊婦相談来所率	%	
ウ			
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位	
ア	育児が楽しいと感じる方の割合(18か月)	%	
イ	定期健康診査をきちんと受けた経産婦数	数	
ウ			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	14年度(実績)	15年度(実績)	16年度(実績)	17年度(見込)	18年度(目標)	19年度(目標)	年度(最終目標)
投入量	事業費	千円							
	特定財源	千円	4,902	5,042	3,935	5,269	5,269	5,269	
	一般財源	千円							
	その他	千円							
	事業費計(A)	千円	4,902	5,042	3,935	5,269	5,269	5,269	0
	人件費	人	6	5	5	4			
正規職員従事人数	年間			0.0650					
人件費計(B)	千円	0	0	600	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,902	5,042	4,535	5,269	5,269	5,269	0	
活動指標	ア	日数	50	47	49	50			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	人	188	193	148				
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	人	370	370	300				
	イ	%	92.4	94.7	97.4				
	ウ								
上位成果指標	ア	%			79.6				
	イ	数							
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等 この事務事業を開始したきっかけは何か? 母子保健法による。定期健康診査費の助成は平成10年に母子保健計画を立てたとき関係機関から経産婦の経済負担の軽減を望む意見があったため	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか? 少子化となり子どもを産む方が減っている。
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? 経産婦の方はよかったという声があるが、きちっとした数は抑えていない。今後アンケート等で声を聞いていきたい。	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由] ↷	安心して出産・子育てしていただくために大きな役割を果たしている。		
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 手が引ける [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない [理由] ↷	安心した妊娠生活を過ごしていただくためにも必要		
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input type="checkbox"/> 余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↷	現状の体制で適当と考える		
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 余地がある [原因] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない [理由] ↷	現状の体制で適当と考える		
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ	安心した妊娠生活を過ごしていただくためにも必要		
	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ↷ [理由]	各病院などでも指導を受ける機会はあると思うが、細かくされているかどうかはわからない。		
	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献した ↷ 【具体的に】 <input type="checkbox"/> 貢献していない ↷ 【全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由】	安心して出産・子育てしていただくために大きな役割を果たしている。		
	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ	安心した妊娠生活を過ごしていただくためにも必要		
効率性 評価	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 可能 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 [理由] ↷	健在も金曜日は臨時の保健師が対応している。		
	公正性 評価 受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由] ↷	現在受益者負担はないが、将来をになう子どもたちを健全に産み育てるためにも無料が妥当と考える。		

3 改革・改善方向の部(PLAN)																							
(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 安心して妊娠生活を過ごしていただくためにも必要	(3)改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			×	維持					低下	×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			×																			
	維持																						
	低下	×	×																				

(2)改革,改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？